

# 第三七回 内村鑑三研究セミナーのご案内

日時 二〇二三年六月一日(土曜日) 一四時〜一七時

開催方法 対面とZoomのハイブリッド方式として開催

会場は立教大学池袋キャンパス二二号館 地下一階 第一・第二会議室

発表

楳岡的思考の可能性

小舘 美彦

(拓殖大学特任講師・春風学寮寮長)

〔発表要旨〕

この論考は、内村鑑三のエートスの柱の一つである楳岡的思考に着目し、その楳岡的思考とはいかなるものかを明らかにし、その独自性や可能性を考えようとするものである。

原島正氏は「と」をキーワードとする一連の論文において、内村の楳岡的思考とはどのようなものか、その大半を明らかにしているが、そのすべてを明らかにしているわけではない。この論考では、原島氏が指摘しながらも十分に展開して切れていない部分、すなわち内村の楳岡的思考の縦の相を追求することでその独自性・可能性を明らかにしていきたい。

内村鑑三の天皇観

佐々木 結

(同志社大学院神学研究科博士後期課程)

〈発表要旨〉

本発表では内村鑑三の天皇・皇室観を分析する。世間に対する批判者・預言者というイメージで語られがちな内村であるが、日記や親しい人々への書簡から見えてくるのは、天皇や皇室を尊敬し愛慕する姿である。

以上の点をふまえて、筆者がさらに問わんとしているのは、キリスト者である内村において、信仰と天皇への想いがどのように関係づけられ、調和されていたのかという点である。この問いに関して筆者は、内村がキリスト教信仰と天皇への想いをほとんど関係づけず、従って両者は調和されず、むしろ矛盾に満ちた状態にあったことを指摘する。

司会 渡部和隆 (『内村鑑三研究』編集委員、NCC宗教研究所研究員)

資料・通信費 一〇〇〇円

申し込み Zoomで参加ご希望の方は六月五日までにメールで左記までお申し込みください(氏名、TEL、メールアドレス明記)。折り返し当日ログインするURLと資料・通信費振込口座の情報をお送りします。(対面での参加の方は申し込みは不要。会場に直接お越しください。)

渡部和隆 メールアドレス a0035752@mail.goo.ne.jp

主催 『内村鑑三研究』編集委員会

(岩野祐介、柴田真希都、ゾントーク・ミラ、高木謙次、千葉真、ラフェイ・ミシエル、渡部和隆)

問い合わせ 渡部和隆 メールアドレス a0035752@mail.goo.ne.jp

今井館教友会内『内村鑑三研究』編集委員会 電話 03-6277-5669